

平成29年度

# 「未来づくり懇談会」

1. 阿久比町民憲章の唱和
2. 町長あいさつ
3. 懇談会テーマ
  - ①顔の見える地域づくりについて
  - ②健康で元気に暮らすために

《 質 疑 応 答 》

4. 参加者との懇談
  - 《 意 見 交 換 》

## 重 点 施 策

・ 放課後児童健全育成事業	4,829 万円
・ 保育所運営事業	5 億 4,676 万円
・ 子ども医療費支給事業	1 億 8,567 万円
・ 民生委員協力員事業	79 万円
・ ごみ処理事業	4 億 3,018 万円
・ 県、町植樹祭事業	920 万円
・ 女性消防団活動事業	124 万円
・ 住民税 1%町民予算枠事業	1,431 万円
・ 道路、橋梁補修事業	8,612 万円
・ 愛知県有料道路コンセッション関連事業	1,034 万円
・ 給食センター基本計画策定等事業	3,789 万円

# 「阿久比町に住んでみたい。 住みつづけたいと思われる 町にするために」

## 町長 施政方針



3月2日に開かれた平成29年阿久比町議会第1回定例会の冒頭で町長が、平成29年度の施政方針を述べました。抜粋して掲載します。

新庁舎建設事業を完了できるのも、町民の皆さまや関係各位の温かいご理解、ご協力のおかげです。深く感謝とお礼を申し上げます。

新庁舎建設事業は完了しましたが、今後は公共施設などの長寿命化を図るため、計画的に維持管理を進める必要があります。特に給食センターは現施設の老朽化に加え、今後増加する児童・生徒数に対応するため、新給食センターの建設が急務となっています。

また、避けられない高齢化の進行に加え、本町では子どもの増加などによる社会保障関係経費のさらなる増加も大きな課題となっています。

そのような中、さまざまな事業を着実に推進していくには、安定的かつ健全な財政基盤を確立し、維持することが不可欠です。本町の将来を見据えながら真に必要な事業を選択し、限られた財源を適正に配分することが重要です。

引き続き効率的な行財政運営に努め、収支均衡を図るため、これまで以上に施策の点検と経費の縮減などの徹底に努めていきます。

第5次阿久比町総合計画の第7年次として「みどりと共生する快適生活空間・あぐい」を実現するため、次に掲げる施策を目標として予算を編成しました。

### ①住みつづけたい快適なまちづくりのための推進施策

本町の魅力である「自然の豊かさ」と「都市の豊かさ」のハイブリッドを生かすため、適正な土地利用へ

の誘導、市街地、公園・緑地、水道施設の耐震化を進める。併せて道路・交通網、道路舗装・橋梁などの整備も進める。

### ②みどりと共生する安全なまちづくりのための推進施策

ホテルが生息できるみどり豊かな自然環境を保全するため、下水道の加入促進、ごみ減量化など循環型社会の形成に努める。あらゆる災害に強い安全・安心なまちづくりを進めるため、防火・防災・防犯体制の充実を図る。

### ③人にやさしい健康・福祉のまちづくりのための推進施策

次代を担う子どもが健やかに成長できるように、地域ぐるみの子育てを支援する。高齢者福祉や介護、障がい者施策の推進に努め、健康づくりや保健事業などの積極的な展開と医療体制の充実を図る。

### ④人を育てる教育・文化のまちづくりのための推進施策

校舎の修繕、児童・生徒数の増加に対応する給食センターなどの施設整備に努める。子どもたちの健やかな成長のため、幼・保・小・中一貫教育の発展を目指す。公民館、スポーツ村などを活用した、生涯学習の各種事業内容の充実を図る。

### ⑤活力ある産業のまちづくりのための推進施策

農業・商業・工業の振興施策の展

開、土地改良事業の推進、工業用地の確保に努める。愛知県が全国で初めて採用した有料道路コンセッションによる阿久比パーキングをチャンスと捉え、民間活力を生かした観光と産業振興につなげる。

### ⑥みんなでつくる参画と協働のまちづくりのための推進施策

「住民税1%町民予算枠事業」など、住民と行政が協働するまちづくりを進めるとともに、町民のふれあいの機会を設けるコミュニティ活動を展開する。

(歳入歳出予算内容は次ページ以降に掲載)

みどり豊かで子育て世代にぴったりの町として、町外から多くの方をお迎えできていることを大変うれしく感じています。人々の価値観もニーズも多様化してきている今だからこそ、多くの町民の皆さまの声を大切にして、真摯(しんし)に行政に反映させていきたいと考えています。現状に満足することなく施策を実施し、効率的な行財政運営に努めます。

今後も、皆さまに「阿久比町に住んでみたい。阿久比町に住みつづけたい」と思っていただけ町にするため、これからも全力で取り組んでいきます。

# 平成29年度 当初予算

# 総額 155億9,049万1,000円

平成29年度の予算が決まりました。予算総額は、155億9,049万1,000円です。前年度に比べ17億7,360万5,000円、10.2%の減となりました。このうち、一般会計は90億2,900万円で、前年度に比べ15億9,600万円、15.0%の減となりました。

ここでは平成29年度予算のあらましを紹介します。

☆子どもの保育・学習環境を向上させます！

☆民生委員協力員を新設します！

☆愛知県植樹祭・阿久比町植樹祭を開催します！

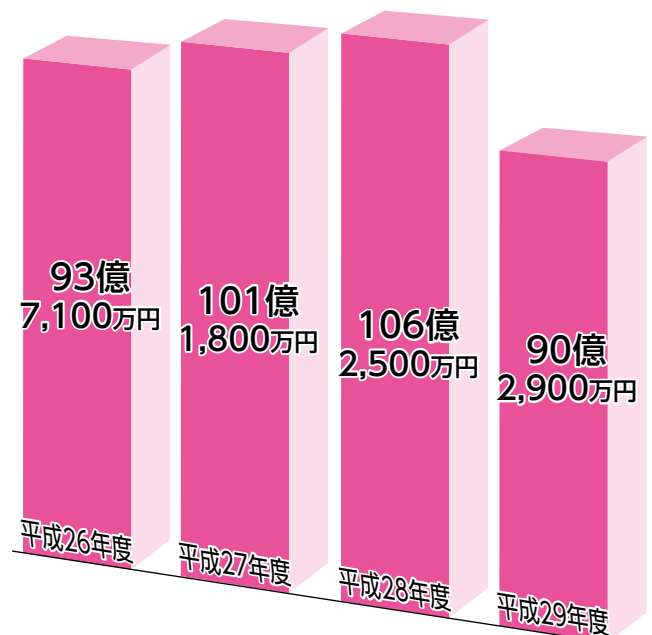
## 《会計別予算》

会計名	予算額	前年比
一般会計	90億2,900万円	△15.0%
特別会計	58億9,520万5,000円	△2.2%
水道事業会計 (支出ベース)	6億6,628万6,000円	△6.0%
合計	155億9,049万1,000円	△10.2%

## 《特別会計の内訳》

会計名	予算額	前年比
国民健康保険	29億5,772万6,000円	△1.6%
土地取得	20万円	△9.1%
下水道事業	6億2,000万円	△9.9%
介護保険	19億7,601万6,000円	△1.9%
後期高齢者医療	3億4,126万3,000円	5.5%

## 《一般会計の推移》



## 予算用語解説

### ◇一般会計

福祉や教育、道路整備など行政の基本的な事業の会計

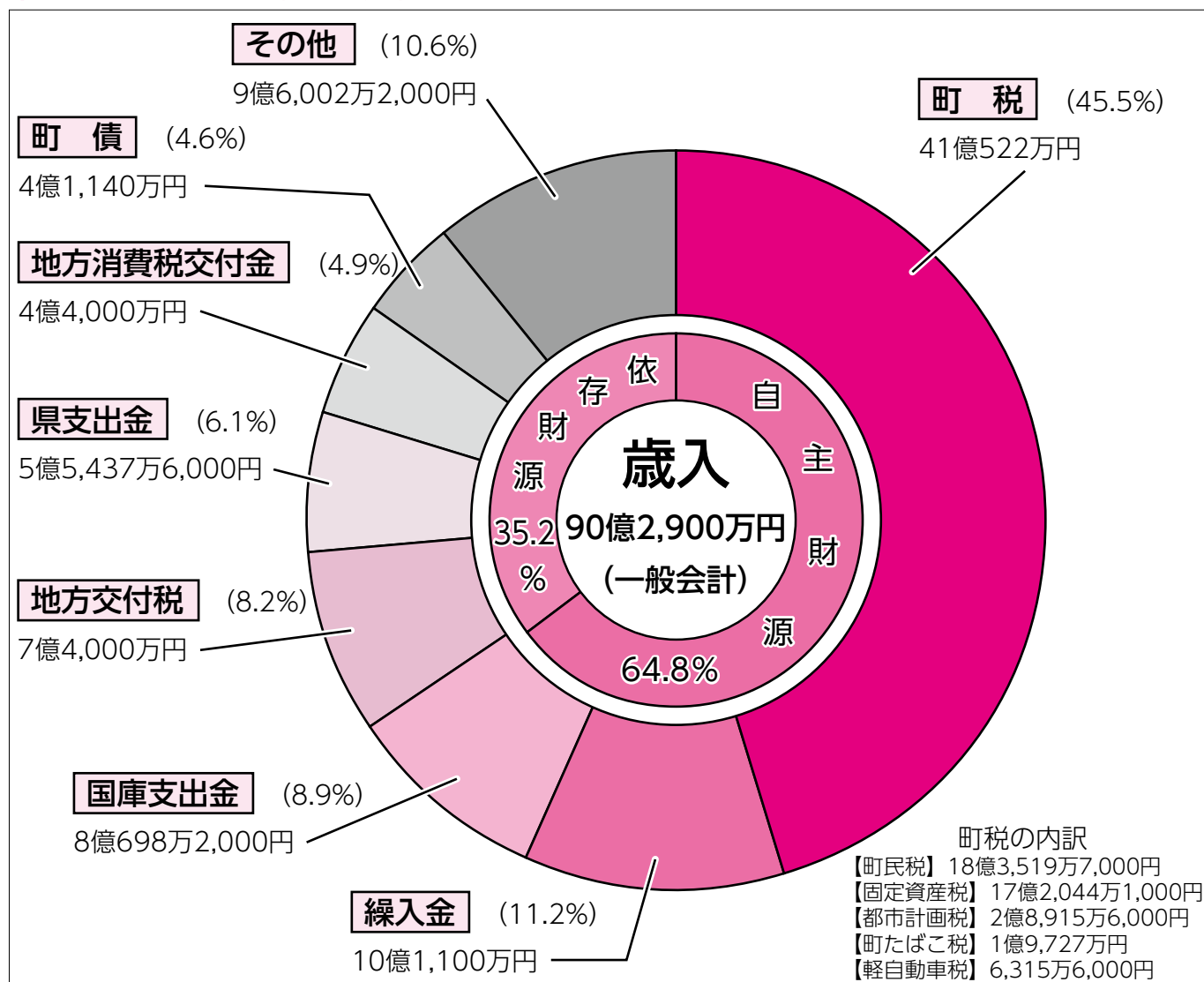
### ◇特別会計

国民健康保険、介護保険など一般会計と区別して設置する事業の会計

### ◇水道事業会計

民間企業のように使用料金などの収益で運営する企業会計

## 平成29年度当初予算(一般会計)



## 町民1人当たりの税金(町税)

※3月1日の人口28,651人で計算

税の種類	金額
町民税	64,054円
固定資産税	60,048円
都市計画税	10,093円
町たばこ税	6,885円
軽自動車税	2,204円
<b>合計</b>	<b>143,284円</b>

## 予算用語解説

### ◇町債

町の借金のことです。家を新築するために住宅ローンでお金を借りることがありますが、同様に町債は、学校や道路の建設など多額の費用を必要とするとき、国などから長期に借り入れる資金のことです。

### ◇地方交付税

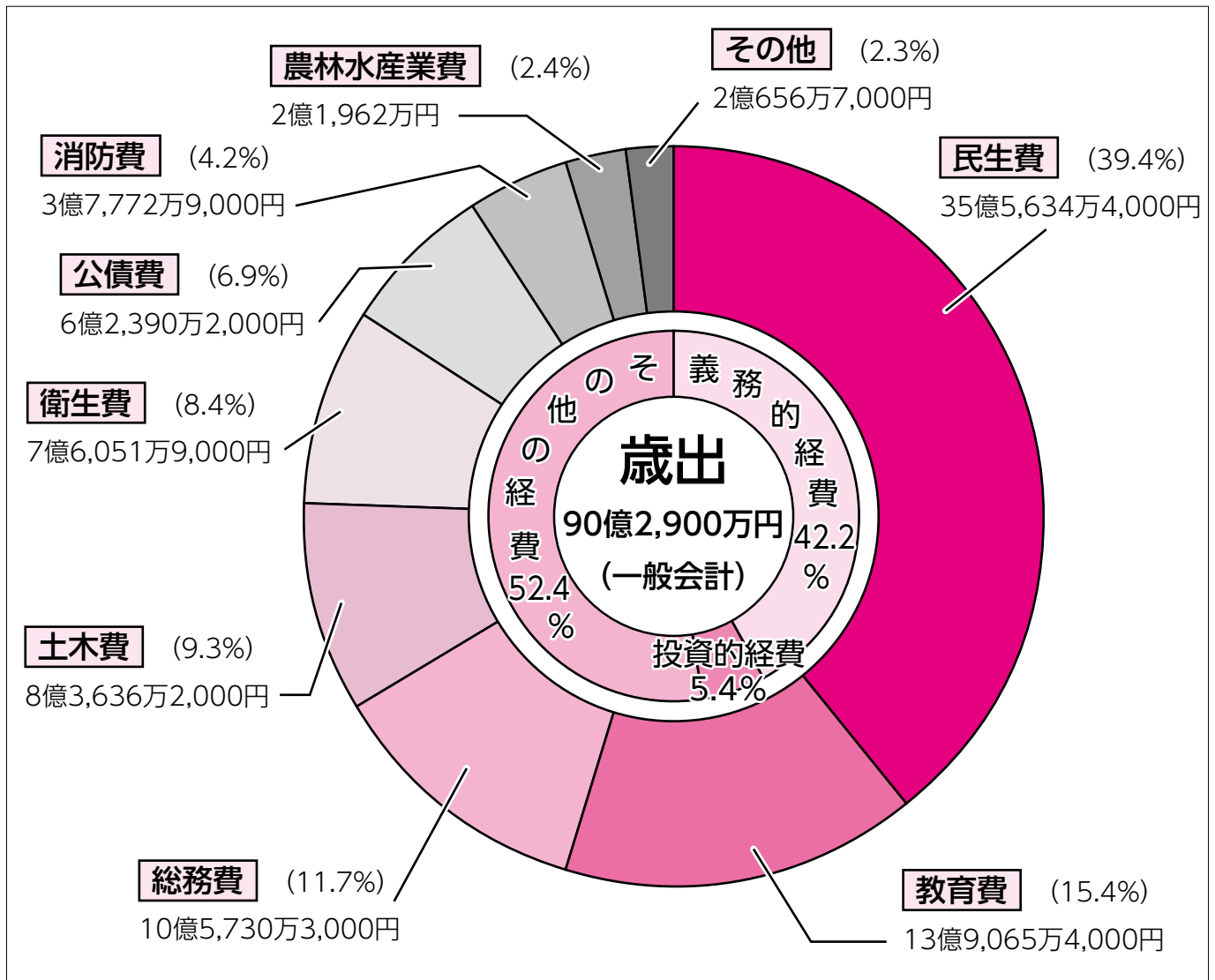
地方公共団体には、財政の豊かなところとそうでないところがありますが、一定レベルの行政サービスを行うための財源が足りない地方公共団体に国が交付するお金です。

### ◇自主財源

地方公共団体が自主的に収入できる財源のことです。(町税、分担金や負担金、使用料や手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入)

### ◇依存財源

国・県の決定や割り当てに基づいて収入するもののこと。 (国庫支出金、県支出金、地方譲与税、県税交付金(利子割交付金など)、地方交付税、地方特例交付金、町債)



### 予算用語解説

#### ◇公債費

国などから借り入れたお金(町債)の返済に充てるものです。

#### ◇義務的経費

支出がほぼ義務づけられていて、容易または任意には削減できない経費のことです。(人件費、扶助費、公債費)

#### ◇投資的経費

道路、橋、公園、学校など公共施設の建設のように、社会資本の整備に要する経費のことです。

### 町民1人に使われるお金(一般会計)

※3月1日の人口28,651人で計算

予算項目	予算額	予算項目	予算額
民生費 高齢者や障がい者などに対する福祉サービスなど	124,126円	公債費 町債(町の借金)の返済	21,776円
教育費 小中学校・図書館などの教育基盤の整備など	48,538円	消防費 消防設備や防災体制の充実など	13,184円
総務費 役場の一般的な事務の運営費など	36,903円	農林水産業費 農林水産業の振興など	7,665円
土木費 道路など生活に必要な都市基盤の整備など	29,191円	その他	7,210円
衛生費 町民の健康を守ること、ごみやし尿の処理など	26,544円	<b>合計</b>	<b>315,137円</b>

# 平成29年度

# 予算の主な使いみち

## (一般会計)

### 問い合わせ先

検査財政課財政係

☎(48)1111(内1313)

### 総務費

- ・阿久比プレイガーデンプロジェクトを実施します。
- ・防犯カメラ監視地域のサイン板を設置します。

阿久比プレイガーデンプロジェクト事業	496万8,000円
防犯カメラ推進事業	259万5,000円
循環バス運行事業	3,020万1,000円

### 民生費

- ・放課後児童健全育成施設の整備を行い、児童数の増加に対応します。
- ・4月開園のSAKURA保育園を含む民間保育所の運営費を助成します。
- ・民生委員協力員を新設します。

放課後児童健全育成事業	4,829万9,000円
民間保育所運営事業	4億50万6,000円
民生委員協力員事業	79万2,000円
高齢者タクシー料金助成事業	1,800万円
心身障害者福祉事業	3億5,084万3,000円
子ども医療費支給事業	1億8,567万円
児童手当支給事業	6億282万円
国民健康保険特別会計繰出金	2億5,404万1,000円

### 衛生費

- ・B型肝炎ワクチンなどの接種を行います。
- ・ロコモティブシンドローム予防のための運動教室を実施します。
- ・ごみ処理施設のある東部知多衛生組合の運営費を負担します。

予防接種事業	9,393万7,000円
ロコモティブシンドローム予防事業	34万4,000円
妊産婦・乳児健康診査事業	3,503万8,000円
ごみ処理事業	1億4,863万8,000円
ごみ減量化対策事業	9,186万6,000円
東部知多衛生組合運営事業	1億8,968万2,000円

### 労働費

- ・勤労者の住宅取得資金預託事業などに使います。

勤労者住宅資金預託事業	1,500万円
-------------	---------



放課後児童健全育成(学童保育)の施設を整備します

# 予算の主な使いみち

## 農林水産業費

- ・愛知県植樹祭を開催します。
- ・人・農地プランで位置付けられた農業者の支援を行います。
- ・宮津地区の土地改良事業計画調査を行います。

県植樹祭事業	288万4,000円
人・農地プラン事業	1,523万円
宮津地区土地改良事業	568万8,000円
多面的機能支払交付金事業	2,929万2,000円
阿久比排水機場整備事業	2,249万1,000円
愛知用水二期事業負担金	3,679万4,000円

## 商工費

- ・観光、商工業の振興支援を行います。
- ・花かつみ園の維持管理を充実します。

観光振興事業	652万8,000円
商工振興事業	4,500万1,000円
花かつみ園維持管理事業	97万4,000円

## 消防費

- ・女性消防団員を新たに採用し、地域防災力の向上を図ります。
- ・災害弱者のために備蓄品や長期保存可能な備蓄食糧の充実を図ります。

女性消防団員活動事業	124万6,000円
災害対策事業	501万円
知多中部広域事務組合負担金	3億2,134万7,000円

## 住民税1%町民予算枠事業

- ・皆さんからご提案いただいたさまざまな事業で、参画と協働を進めます。

わくわくアイデア事業(4事業)	597万5,000円
わくわくコラボ事業(15事業)	834万4,000円



あるある巡回講座



児童用に購入する防災キャップ

## 土木費

- ・阿久比町植樹祭を開催します。
- ・幹線町道や各地区の町道で緊急性の高い箇所の補修工事を行います。
- ・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋の補修工事を行います。

町植樹祭事業	631万8,000円
道路補修事業	6,077万6,000円
橋梁補修事業	2,534万4,000円
道路改良事業	6,293万円
狭あい道路整備等促進事業	480万円
愛知県有料道路コンセッション関連事業	1,034万2,000円
民間木造住宅耐震化事業	2,231万5,000円
公園整備事業	1,283万3,000円

## 教育費

- ・新給食センターの建設に向けた基本計画の策定などを行います。
- ・英比小学校の南校舎屋上防水工事など小学校の施設改修を行います。
- ・阿久比中学校の北校舎サッシ改修工事など中学校の施設改修を行います。

給食センター基本計画策定等事業	3,789万円
小学校改修事業	5,362万5,000円
中学校改修事業	2,538万6,000円
幼保小中一貫教育プロジェクト事業	137万円
公民館整備事業	308万3,000円
文化財保護事業	449万4,000円
体育施設整備事業	326万2,000円
ふれあいの森整備事業	224万1,000円
阿久比スポーツ村整備事業	800万5,000円



給食センター基本計画を策定します

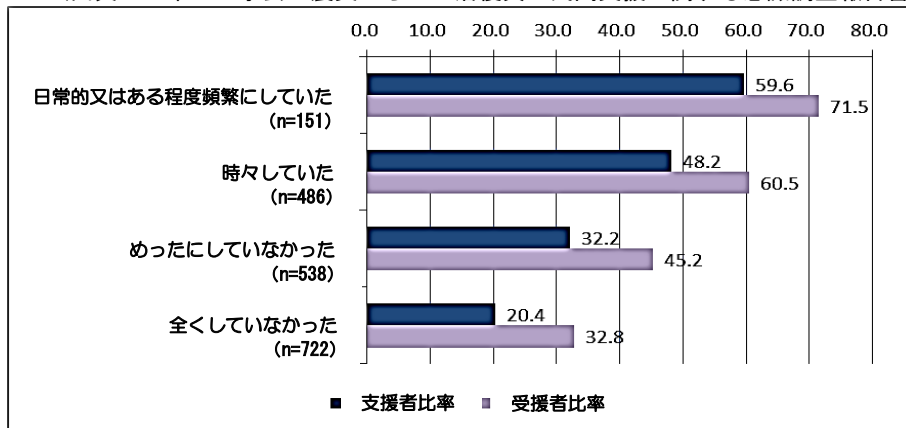
## ○阪神・淡路大震災時に生き埋めや閉じ込められた際の救助

(参考 日本火災学会：1995年兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書)

誰が	%	自助・共助・公助の別
自力で	34.9%	自助 66.8%
家族に	31.9%	
友人・隣人に	28.1%	共助 30.7%
通行人に	2.6%	
救助隊に	1.7%	公助 2.6%
その他	0.9%	

## ○東日本大震災前の自治会・町内会など地縁活動と支援者比率・受援者比率

(出典 日本NPO学会：震災からの生活復興と民間支援に関する意識調査報告書)



※被災者に対する調査においては、東日本大震災前に自治会、町内会等の地縁活動への参加の程度が高い人たちが、東日本大震災の際に、支援者として活動した比率（支援者比率）も支援を受けた比率（受援者比率）も高い。

## ○新潟県糸魚川市大規模火災（平成28年12月22日10時20分頃出火）出動状況

(参考 消防庁発表資料)

### (1) 人的被害

負傷者：17人（軽症：男性14人、女性2人、中等症：男性1人）

（煙を吸ったことによる1人、転倒による1人、消火活動中に負傷した消防団員15人）

### (2) 建物被害

焼損棟数：147棟（全焼120棟、半焼5棟、部分焼22棟）

焼損床面積：30,412㎡

阿久比町消防団員の数等 H29.4.1現在

### (3) 活動状況（活動消防車両数及び活動人員数）

【12月22日】

・糸魚川市消防本部 16台 74人

**糸魚川市消防団 72台 756人**

・県内外応援消防隊 38台 175人

【12月23日】

・糸魚川市消防本部 16台 75人

**糸魚川市消防団 64台 720人**

・県内外応援消防隊 25台 154人

分団名	地区	条例定数	実団員数
第1分団	横松、萩、宮津、宮津団地、宮津山田、陽なたの丘	21人	18人
第2分団	板山、福住、福住園高台、白沢、白沢台、高根台、坂部、メツ翼ヶ丘	15人	5人
第3分団	草木	20人	20人
第4分団	卯之山、阿久比団地、阿久比、棕岡、矢口	20人	12人
第5分団	高岡、植、大古根	21人	21人

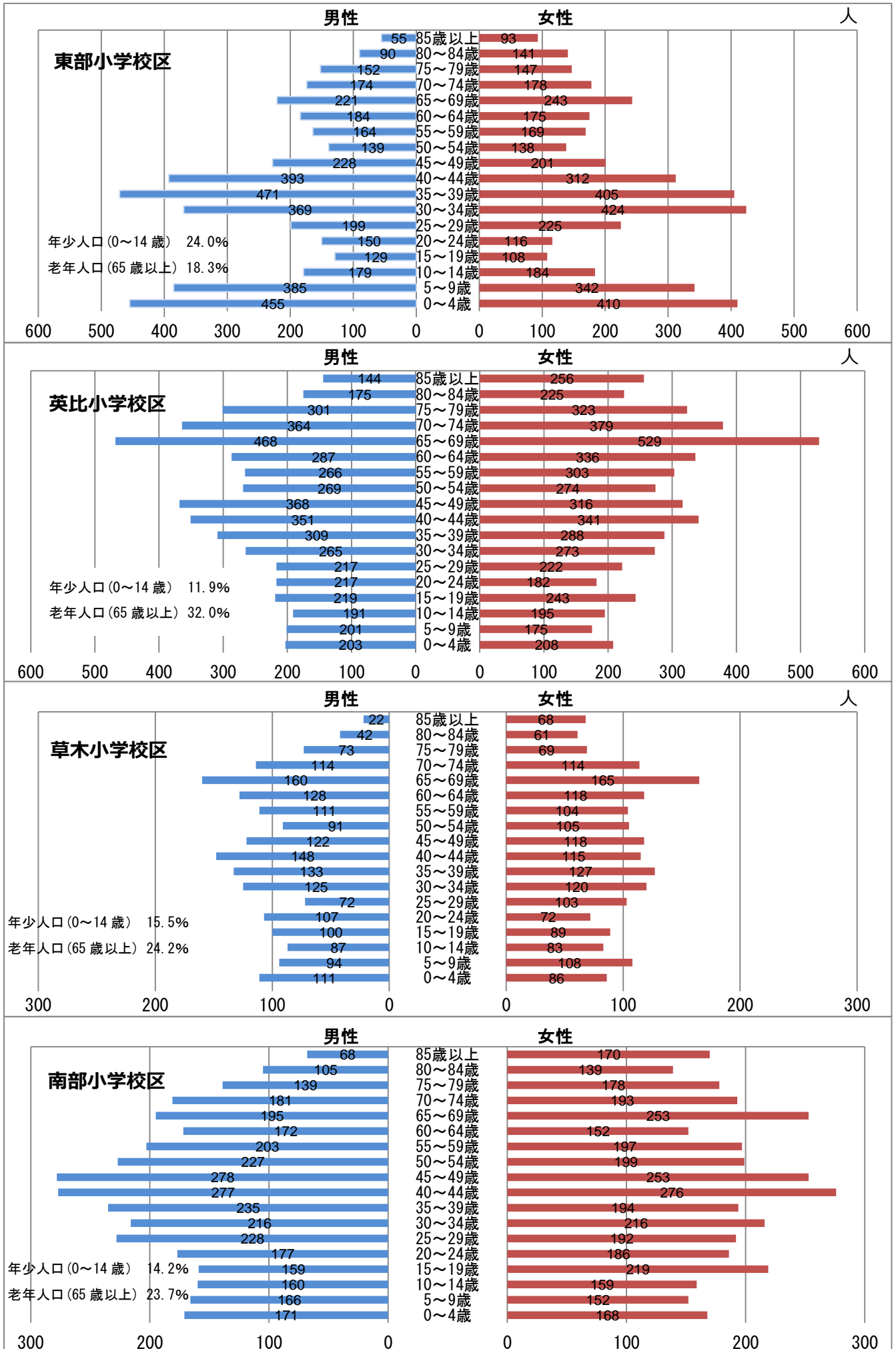
## ○コミュニティ活動例





○小学校区別の人口ピラミッド

(平成28年10月1日現在 住民基本台帳)



## ○健康づくり事業

事業名	内容	対象	スタッフ	計画
食生活改善推進員 スキルアップ教室	健康づくりに関する研修、調理実習	食生活改善推進員	管理栄養士(1) 歯科衛生士(2) 保健師(1)	2回
健康まつり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・血液サラサラチェック</li> <li>・歯科健診、フッ素塗布</li> <li>・骨密度測定</li> <li>・展示(健康パネル・21計画等)</li> <li>・食生活改善推進員コーナー</li> </ul>	一般住民	歯科医師(9) 歯科衛生士(2) 食生活改善推進員 連絡協議会 保健師(5) 住民福祉課職員等	11月6日(日)
健康づくり リーダー研修会	健康体操リーダーのスキルアップを図る	健康体操リーダー	健康運動指導士(1) 保健師(1)等	10回
リフレッシュ体操教室	若い頃から運動する習慣を身につける	一般住民	健康運動指導士(1) 保健師(1)等	6回
健康マイレージ事業	県の「あいち健康マイレージ事業」に基づく。住民の健康行動の実績をポイント化し、貯めたポイントにより様々なサービスを提供することで住民の健康増進を推進。	20歳以上	保健師	10月～予定
知識普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくりに関する情報提供</li> <li>・広報、ホームページ、電光掲示板</li> </ul>	全世帯	保健師	月1回
ロコモティブシンド ローム予防教室	関節や筋肉などの運動器の機能低下を予防する。	シニア世代男女	理学療法士等	全7回コース

## ○各同好会の活動内容

	生命の貯蓄体操	太極拳
登録人数(H27年度)	24	33
年齢層	60～70歳	50歳代～80歳代
参加者男女比	全員女性	女性77%・他男性
活動日	毎週月曜日	毎週木曜日
活動場所	保健センター	保健センター
活動内容	東洋医学の考えをもとにした体操。丹田呼吸法と共に体を伸ばす体操を行う。	太極拳

健康体操同好会	フレンズ・30	ひまわりの会	ローズの会	若竹会	サクラ同好会
登録人数(H27年度)	27	16	25	30	33
年齢層	60～70歳	60～70歳	60～70歳	60～70歳	70～80歳
参加者男女比	全員女性	全員女性	男性1、他女性	女性77%・他男性	女性82%・他男性
活動日	毎週火曜日	毎週水曜日	毎週水曜日	毎週金曜日	月曜日(3回/月)
活動場所	保健センター	保健センター	保健センター	保健センター	保健センター
活動内容	健康体操	ストレッチを1時間及び保健センター周辺のウォーキング30分行う。	健康体操	健康体操	健康体操

親子でいっしょに  
健康づくり♪

# すこやかトレーニングスクール

## 4月のプログラム 「姿勢が良くなる運動遊び」

リングやラダー、ストレッチポールなどを使用し、親子でふれあいながら姿勢が良くなる運動遊びを行います。春の日差しが心地よい青空の下、親子で楽しみながら運動をしませんか？

■日時 4月16日(日)午前10時～午前11時30分

■場所 阿久比スポーツ村陸上競技場内(雨天時は内容を変更し、屋内で実施)

■対象 町内在住の親子(小学1年生～3年生の子どもとその保護者)  
※同伴のご家族であれば、幼児・高学年も一緒に参加できます。

■定員・参加料 20組・無料

■申し込み方法 電話、FAX、電子メールまたは直接社会教育課の窓口で申し込んでください。その際、氏名、年齢、性別、住所、電話番号をお知らせください。(FAX、電子メールの場合は件名に「トレーニングスクール」と明記してください。)

■申込期限 4月14日(金)

■講師



平井 由佑子さん(健康運動指導士)

数多くの自治体、スポーツクラブにおいてトレーニング教室、健康づくり教室、からだづくり教室などの講師を務める。今話題のコアトレーニングの指導にも精通している「からだづくりのスペシャリスト」。

■申し込み・問い合わせ先 社会教育課体育係 ☎(48) 1111 (内1228・1229)  
FAX(48)6229 電子メール taiiku@town.agui.lg.jp

### 【すこやかトレーニングスクール とは】

4月から阿久比スポーツ村すこやか町民開放日(毎月第3日曜日)に合わせ、トレーニングコーチを招いたトレーニングスクールを行います。子どもの発育発達、からだづくり、コアコンディショニングを中心に、季節ごとにさまざまなプログラムを展開していきます。毎月第3日曜日はスポーツ村で親子で楽しく健康づくりをしましょう！

### 【今後の予定】

～春～(4月～6月) 親子プログラム 姿勢が良くなる運動遊び  
～夏～(7月～9月) 親子プログラム 親子でかけっこ講座～運動会へ向けて～  
～秋～(10月～12月) ママプログラム キレイなママのからだづくり  
～冬～(1月～3月) 家族プログラム やってみよう!ポールウォーキング

※毎回、参加申込が必要です。詳細は毎月1日号の広報に掲載します。



# 阿久比町民憲章

わたしたち阿久比町民は、ここに町民憲章を定め、  
よりよい町づくりに努めることを誓います。

- ホタル飛びかう、  
豊かな自然を守ります。
- 歴史と伝統を守り、  
教養を高めます。
- スポーツに親しみ、  
健康で明るい家庭をつくります。
- オアシス運動をすすめ、  
笑顔あふれるまちをつくります。
- ボランティア活動に、  
すすんで参加します。



アグビー

ホタル飛びかう住みよい環境づくりを進める阿久比町のマスコット

平成15年11月2日制定